



neutral production ニュートラル・プロダクション 個展

raison d'être レゾン・デートル

2013. 09. 18 (水) -10. 06 (日)

12:00-18:00 (月曜・火曜休廊)

ギャラリートーク 15:00-16:00 10.05(土) 入場無料

笹岡 敬 (特定非営利活動法人 CAS 運営委員長) ×ニュートラル・プロダクション

neutral production solo exhibition

2013. 09. 18 (Wed.) -10. 06 (Sun.)

Talk Reception 15:00-16:00 on October 5 (Sat.)

暗く照明を落とした会場に浮かぶ白いオブジェ。噴水のように、雪のように舞い上がる白い粉。透徹な無機質空間に浮遊する造形は、見るものを非日常空間へダイレクトに誘い込みます。

藪陽介と島山雅弘の二人によるアート・ユニット neutral production は、映像と音響を使いながら、物理的・科学的現象をアートとして表現する作品を制作しています。

極小の発泡ビーズが、コンピューターでプログラミングされたファンにより垂直に噴き上がり、それに合わせた幾何学的な映像を投射させることで、重層的な疑似立体造形を立ち上げています。

発泡ビーズが作り出す黒と白の対比は、光と影、生と死、といった相反する概念を想起させます。

光と闇を与えられることで顕れるさまざまな造形は、光の属性がもたらす、見えるもの・見えないものの関係性への問いかけでもあり、「存在意義」(raison d'être レゾン・デートル)の主題につながるものです。

2011年の発電所美術館 (Nizayama Forest Art Museum)の個展から約2年。raison d'être シリーズを意欲的に展開していく中で、本展ではまた一步踏み込んだ新作を含めて発表いたします。

兵庫県では初の個展となる neutral production 展。是非、ご期待ください。

From the white objects in dark space, white powder is stirred up into the air like a fountain or snow.

The art unit "neutral production" by Yosuke YABU and Masahiro HATAKEYAMA expresses physical and chemical phenomena by images and sound effects.

Expandable beads reacting to the air of electric fans create the contrast of black and white and let us image the contrary concepts, light and shadow, or life and death.

It leads us to the theme of "raison d' être", the relationship between the seen and unseen.

G A L E R I E  
ASHIYA  
SCHULE  
ギャラリー・あしやしゅーる

〒659-0016 兵庫県芦屋市親王塚町3-11 tel 0797-20-6629 info@ashiyaschule.com http://ashiyaschule.com